RACING SPECIALITY
Arai News
OCTOBER 2018 VOL.365
Arai HELMET

ヘルメットづくりを、ビジネスではなく、ライダーの頭を護りたいからつくる。

アライは規格に留まらず、先を見据えて少しでも護れる可能性をあげるために、「すること」と「しないこと」があります。

アライだから、すること—1
護る性能を追求し、やらないよりやった方が良い**改良を一つ一つ積み上げる**こと。

アライだから、すること—2
安全性能を犠牲にしないで、通気性・重さ・快適性能の追求をすること。

アライだから、すること—3
プロテクションを追求する姿勢を、アライの**社員それぞれが目を向ける**こと。

「アライだから、すること」、「アライだから、しないこと」。

アライだから、しないこと—① カッコよくて、見た目の変化で売れやすいけど（わかっているけど）、R75、かわす性能を蔑ろにした角ばった変形ヘルメットをつくること。

アライだから、しないこと—② 利便性が高く、スタイリッシュでファッショナブルで需要があるけど（わかっているけど）、護る性能を減少させる恐れのある、インナーサンバイザー・ヘルメットをつくること。

アライだから、しないこと—③ ヘルメットの軽さは重要で大切な項目であるけど（わかっているけど）、帽体強度、実績あるスネル規格を投げ出してまで、軽量ヘルメットをつくること。

「すること」と「しないこと」の内容の差は、ヘルメットとしての最大の目的である「頭を護るという使命」を、より確実に遂行できるかの差が生まれてくるのです。安全性能に絶対はないですが、アライは「少しでも可能性を多く護ってみせる」、それを忘れず仕事をしています。

「アライの違い」、ヘルメットを選ぶときに思い出してみてください。

株式会社アライヘルメット 〒330-0841 さいたま市大宮区東町2-12 TEL.048-641-3825 ●アフターサービスの窓口は品質管理課です。製品の事なら、お気軽にご相談ください。直通TEL.048-645-3661
http://www.arai.co.jp/